

支援理念「子ども達が生きていく上でやりたいことを見つけ、それに向かった手伝いをしていけるような場所を目指す」

支援方針

何をやりたいのかを明確にし、それに向けて必要なモノやスキルを習得するための手伝いをしていく。いきなりゴールを目指すのではなくスモールステップで徐々にスキルアップを目指したまには寄り道をし様々な経験、体験をしゴールを目指していく。



健康状態

営業時間：10：00～18：00
送迎サービス：有

心身機能・構造



〈健康・生活〉

- ①決められた時間で行動が出来るようにするため、アナログとデジタルの時計を両方置き時間を意識してもらう
- ②体調の良し悪しが自ら発信できるようになるため、始まりの会を導入し発信の機会を設ける
- ③自分で出したものは自分で片づける。また自分で汚したものは自分できれいにする（トイレ等）ための補助を行う

参加



〈人間関係・社会性〉

- ①報告・連絡・相談の徹底
- ②仕事の休憩時間や休日の過ごし方など自分の時間の使い方を覚えてもらえるよう支援をしていく

〈運動・感覚〉

- ①左右の認識をしっかり持てるようにホワイトボードや様々な見えるところに表記を行い意識付けを行う
- ②定規を使いまっすぐ線を引き、その線をまっすぐハサミを使いきれようにするためのプリントを用意する
- ③袋の口を結ぶ、靴紐を結ぶ、風呂敷を結ぶなど様々なものを結ぶことが出来るように作業を用意する

〈認知・行動〉

- ①公共交通機関や公共の場でのルールを実際に活動を通して覚えてもらう（電車やバス、公園や施設等）
- ②自分の考えや感情などを言葉で表現できるように発言の機会を設ける（帰りの会等）
- ③危険な行動や場面を予測し、安全な行動をとることが出来るような機会や練習の場面を設定する

活動

〈言語・コミュニケーション〉

- ①何か作業が終わった後や今やっている事が終わったときに必ず報告を行うようにする
- ②相手に物事をうまく伝えるために支援を行う（誰が、どこで、何を、どうしたを丁寧に確認）

個人因子



〈体験・経験（行事等）〉

- ・お花見・夏祭り・運動会・クリスマス会等

環境因子



〈家族支援〉

- ・面談の実施等

〈職員の質の向上〉

- ・社内研修の実施、ペアトレ講習受講

〈移行支援〉

- ・就労B型との連携

〈地域支援・連携〉

- ・近隣施設へのご挨拶と施設への理解